モニタリング結果報告書（令和７年度実績）のまとめ　＊指定期間４年度目施設

資料１－１

〇指定期間４年度目の指定管理者の３項目評価の結果
Ｓ評価：１件　　Ａ評価：２件　　Ｂ評価：６件　　Ｃ評価：１件　　評価対象外：０件　　合　計：10件

3項目評価が　Sの施設

所管局	ページ数 (資料1-3)	施設の名称	指定管理者名	３項目評価	利用状況	満足度	収支状況	３項目評価の概要 （利用状況・利用者の満足度・収支状況）
県土整備局	Ｐ79 ～ Ｐ86	葉山港	湘南サニーサイドマリーナ（株）	Ｓ	Ｓ	Ｓ	Ａ	◆利用状況 　ヨット等の出艇数は目標達成率約132%となり、Ｓ評価となった。 　休業日等における特別の体制を取ってのヨットレース等開催に協力し、計81回の競技大会の開催を葉山港で受け入れ、ヨット振興に貢献した。また、自主事業におけるレンタルボートは７隻体制で運営し、計1,014隻（乗船者数延べ3,226人）の出艇実績を上げ、多くの方々に葉山・相模湾の魅力に触れてもらい、葉山港及び周辺地域の賑わいの創出に大きく貢献した。 ◆利用者の満足度 　詳細アンケートを例年２月に実施しており、「満足」「どちらかといえば満足」の上位２段階の葉山港の総合的な評価は93.7%となり、Ｓ評価となった。アンケートの回答方法については、WEBやQRコードを活用できるように工夫し、回答率が約65%と昨年度（約60%）から向上している。今後も対象者に協力を求める工夫に努め、引き続き回答率の改善に向け取り組んでほしい。 ◆収支状況 　夜間警備等の委託料及び光熱費の高騰に係る支出の増があったが、駐車場や会議室の利用促進に尽力し、利用料金の収入増となったため、収支差額はプラス、収支比率が約100%となり、Ａ評価となった。今後も、施設の適切な維持管理の遂行に当たり、必要に応じて委託業者の見直しを行い、経費節減に努めるとともに、ヨット振興及び地域振興を図ることで収入増に努めてほしい。

3項目評価が　Aの施設

所管局	ページ数 (資料1-3)	施設の名称	指定管理者名	３項目評価	利用状況	満足度	収支状況	３項目評価の概要 （利用状況・利用者の満足度・収支状況）
文化スポーツ観光局	Ｐ１ ～ Ｐ８	伊勢原射撃場	（一社）神奈川県射撃協会	Ａ	Ａ	Ｓ	Ｂ	◆利用状況 　施設のサービス向上や射撃教室によるスキルアップ、ビームライフル体験会の実施等により再来場が増え、利用者数が目標達成率108.5%となり、Ａ評価となった。利用状況については、前年度対比では全体利用者数が3.7%のプラスとなっている。令和６年度末のライフル設備の更新や、指定管理者による大会や団体練習の積極的な誘致により、ライフル射撃場の利用者が増加している。 ◆利用者の満足度 　利用者の意見を業務に反映した結果、９月と３月に実施したアンケート調査では上位２段階の回答割合が97.1%となり、Ｓ評価となった。アンケートの実施にあたっては、利用者に幅広く回答してもらえるよう呼びかけを行うなど指定管理者は様々な工夫をしているが、回収率が67.6%とそれほど高くないため、日頃から利用者とのコミュニケーションを積極的に図るよう指導した。 ◆収支状況 　支出は、施設の維持管理や設備の修繕等に係る人件費が増となる一方で、燃料の節減や運営の効率化によって需用費が減となり、前年度対比で95.4%となった。また、収入においては、ライフル射撃場の収入は増加したものの、クレー射撃場の収入が減少し、結果として、収入合計では前年度対比で101.4%となった。その結果、収支差額は前年度から回復したが、収支比率は97.5%となり、Ｂ評価となった。
福祉子どもみらい局	Ｐ61 ～ Ｐ70	厚木精華園	（社福）かながわ共同会	Ａ	Ｂ	Ｓ	Ｓ	◆利用状況 　「入所の取組」に関しては、目標達成率が104.5%のためＡ評価となった。「退所の取組」については、「当事者目線の障がい福祉」の実現に向けた通過型施設として地域生活移行に取り組んでいるが、利用者の年齢に合わせ高齢者施設に移行するなどしているため、障害者グループホームへの移行実績は少なく、目標達成率が40.0%であることからＣ評価となった。 　以上から、総合的にＢ評価とするが、引き続き一人ずつ意向確認を行い、丁寧に取り組むことが求められる。 ◆利用者の満足度 　アンケートの設問はイラストを活用する等の工夫をし、原則として第三者委員の立合いで実施するなどした。アンケート実施の結果、設問によっては約４割の利用者が「判断が難しい」となったものもあり、設問の設定や想いのくみ取りに関する課題については引き続き対応の検討が必要である。全体として、「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計回答率が98.6%のため、Ｓ評価となった。 ◆収支状況 　定員に対する利用者率は年度平均で73.8%であった。令和６年度分の未請求分の障害サービス給付費収入があったこと、退職者の増加による退職給付引当資産取崩収入の増加及び物価高騰に伴う指定管理料の増額等による収入の増加とともに、利用者支援に必要な支出は確保しつつ光熱水費等の経費節減に努めた結果、Ｓ評価となった。

3項目評価が Bの施設

所管局	ページ数 (資料1-3)	施設の名称	指定管理者名	３項目評価	利用状況	満足度	収支状況	３項目評価の概要 （利用状況・利用者の満足度・収支状況）
環境農政局	Ｐ９ ～ Ｐ18	大船フラワーセンター	アメニス大船フラワーセンターグループ	Ｂ	Ｂ	Ｓ	Ｃ	◆利用状況 第２期指定管理期間の３年目となる今期は、利用者数23万人の目標を掲げていたが、目標達成率は87.7%となりＢ評価となった。目標としていた利用者数には至らなかったものの、昨年対比では101.2%と堅調に推移している。今期新たにハスの品種を導入し、300品種を超える保有数を確保したことから、見ごたえのある植栽展示を図ることで利用状況の改善を図っていく。 ◆利用者の満足度 利用者満足度調査における総合満足度の項目において、上位２段階の回答割合が98.8%となったためＳ評価となった。また、アンケートでは植物管理や清掃状況、安全性や職員の接遇等の項目で満足度が高い結果となっており、総合満足度につながっていると推察される。 ◆収支状況 収支差額の決算額／収支差額の当初予算額の比率が-51.38%となりＣ評価となった。支出については当初予算の範囲内であるが、収入において利用状況が目標達成に至らなかったことから利用料金収入が減収となり支出が収入を上回る実績となった。また、人件費をはじめ光熱費や清掃委託等で予算を上回る実績となっているが、その他事務費等を抑制することで支出を当初予算の範囲内に収めている。
福祉子どもみらい局	Ｐ19 ～ Ｐ30	津久井やまゆり園	（社福）かながわ共同会	Ｂ	Ｃ	Ａ	Ｓ	◆利用状況 「入所の取組」については、新規入所により一旦は目標値を達成したが、御逝去された方がおり目標値を下回ったためＣ評価となった。入所希望者は多いが、引き続き、園のサービスを必要とする方を優先して入所調整を図っていく。 「退所の取組」について、全入所施設利用者の地域生活移行を現指定期間中の目標とし、毎年12名を目標としているが、令和７年度の地域生活移行者は１名であり、Ｃ評価となった。地域生活移行には利用者自身の意思だけでなく、受け皿となるグループホームの体制や利用者の障がい特性との関係性に加え、家族の意向など多くの要素が条件に合致することが必要である。しかしグループホームの支援体制や設備等が利用者の障がい特性等に適さなかったり、利用体験を重ねて適したグループホームが見つかった場合でも、御家族の理解を得るに至らず移行を望まれない場合などの課題があり目標に達しなかった。これらの課題の解消には、粘り強く一つ一つの課題に取組むことが必要であることから、引き続き工夫を図りながら進めることが求められる。 ◆利用者の満足度 それぞれの利用者に合わせて写真やイラスト、回答のためのカードを用意するほか、日頃支援している職員以外の職員が、状況に応じてオンブズマンとともに対応することで、利用者が回答しやすいよう工夫した結果として、「わからない」との回答内容が減少し、Ａ評価となった。 ◆収支状況 収支差額の当初予算額の比率が1808.15%であったことから、Ｓ評価となった。物価高騰に伴う指定管理料の増額、人材確保や処遇改善関係の県補助金収入を得るとともに、利用者支援に必要な支出は確保しつつ業務委託費や光熱水費等の経費節減に努めた。
福祉子どもみらい局	Ｐ31 ～ Ｐ40	芹が谷やまゆり園	（社福）同愛会・（社福）白根学園	Ｂ	Ｃ	Ｓ	Ｓ	◆利用状況 令和７年４月は入所定員60名中58名が利用していた。年度内にはグループホームへの移行が理由で１名退所したが、速やかに入所を受け入れ、11月から年度末まで60名の100%利用となっている。また、短期入所利用については、定員６名に対し、年間平均で１日６名程度の受入れを行い、利用率は99%超となった。全体として、入所利用者も定員まで受入れ、短期入所利用も積極的に受入れているため、稼働は十分だったと評価できる。 一方で、県が取組を打ち出している、地域生活移行が想定よりも進まず、入所の空きができなかったことから、入所利用者の受入れが停滞し、Ｃ評価となった。今後は、地域生活移行の課題に対して県とともに取組を進めていき、通過型施設としての役割を果たしていく。 ◆利用者の満足度 アンケートによる調査の実施にあたり、利用者が理解しやすいように絵を見せる等して工夫し、無回答３名以外は全員の回答が得られた。利用者満足度は、昨年度に引き続きＳ評価となった。その一方で、外出等の項目や昨年度に引き続き施設の都合に合わせることが不満につながっていることが結果から分かる。分析結果から利用者の園への要望と捉えて、満足度の向上に向けて引き続き取り組まれたい。 園では、アンケートのほかに、毎月開催している利用者自治会およびオンブズパーソン訪問による利用者意見要望等の結果、満足度は概ね高水準となっている。 ◆収支状況 入所、生活介護、短期入所の利用者増により利用料収入が増加している。また、指定管理料は、当初予算に対して決算額が物価、賃上げ上昇分として7,020千円の増額となり、結果、収支差額の決算額/収支差額の当初予算額の比率が307.39%となり、Ｓ評価となった。

所管局	ページ数 (資料1-3)	施設の名称	指定管理者名	３項目評価	利用状況	満足度	収支状況	３項目評価の概要 （利用状況・利用者の満足度・収支状況）
福祉子どもみらい局	Ｐ51 ～ Ｐ60	愛名やまゆり園	（社福）かながわ共同会	Ｂ	Ｃ	Ｓ	Ｓ	◆利用状況 「入所の取組」に関して、本県が「令和５年度障害者支援施設の方向性ビジョン」（令和５年12月）において県立施設の方向性として定員を60名規模まで小規模化する方針としていることとともに、行政処分後も利用者の生活環境の改善のため、地域移行だけでなく他理由での退所者があっても新規入所の受入れ停止を継続していることから、目標値を下回ることとなった。「退所の取組」については、地域移行に向けて、意思決定支援における体験機会や情報提供は全利用者に対して積極的に行っているものの、地域資源不足やマッチングが上手くいかないことにより目標値を達成できなかった。このことから、評価はＣとするが、引き続き、一人ずつ意向確認を行い、丁寧に取り組むことが求められる。 ◆利用者の満足度 利用者満足度の調査は、園の人権推進委員会を中心に調査対象部署以外の職員も同席することとし、公平性を担保しながら実施した。食事に対する設問においては、好意的な回答が多く、地域との関わりも改善されていたが、通所の利用者の回答内容からは、課題が見い出されたため、日頃の支援の見極めと改善を図ることとしている。全体として、「満足」の回答率が96.6%のため、Ｓ評価となった。 ◆収支状況 収支差額の当初予算額の比率が1630.72%であったことから、Ｓ評価となった。施設の特性上、本来的に当初収支差額が大きくないところ、物価高騰に伴う指定管理料の増額があったことや、入所利用者の地域移行が想定を下回ったことによる減収分が当初予算における積算分に届かなかったことが大きく寄与したことに加え、利用者支援に必要な支出は確保しつつ光熱水費等の経費節減に努めたものである。
県土整備局	Ｐ71 ～ Ｐ78	湘南港	（株）リビエラリゾート	Ｂ	Ｃ	Ｓ	Ｓ	◆利用状況 ヨットの出艇数は目標達成率77.0%となり、Ｃ評価となった。しかしながら、前年度及び前々年度と比較して目標達成率は大幅に改善されている。これは、全日本学生選手権大会をはじめとする多くの大会を湘南港で開催することができた結果と考えられる。 ◆利用者の満足度 令和８年１月から３月にかけて実施し、「満足」「どちらかといえば満足」の上位２段階の回答割合が97.5%となり、Ｓ評価となった。アンケートの実施に当たっては、窓口への配架及びQRコードによるWEB回答を併用して、利用者にアンケート回答についての周知を行った。 ◆収支状況 昨年度と同様に小破修繕や一部清掃を自社で行う等の経費節減に努めた。また、隣地の競合駐車場が一時休業していたことから、駐車場利用に係る収入が改善され、収支比率が185.1%となりＳ評価となった。
健康医療局	Ｐ87 ～ Ｐ119	神奈川県総合リハビリテーションセンター	（社福）神奈川県総合リハビリテーション事業団	Ｂ	Ｃ	Ｓ	Ｂ	◆利用状況 （福祉施設）一部、利用状況が改善した施設があったものの、依然として目標に達しない施設が多数ある。 （病院）入院・外来ともに、昨年度に引き続き、利用者数が若干減少傾向にある。 ついては、リハセンターとして、Ｃ評価とした。 （Ｓ評価が１区分、Ｂ評価が３区分、Ｃ評価が６区分） ◆利用者の満足度 福祉では、外出や外食など施設外活動の充実といった利用者目線に立ったサービス提供が高評価につながっている。 また病院では、高度専門的なリハビリテーション医療の提供はもとより、（利用者満足度調査のあとに整備された）電子カルテのシステム改修により、病院内にデジタルサイネージが新設され、診療案内が分かりやすくなったことも、評価につながっていると考えられる。ついては、リハセンターとして、Ｓ評価とした。 ◆収支状況 指定管理業務内において、収支均衡になるよう自助努力に努めたものの、99.97%となったため、Ｂ評価としたが、法人全体としては、収支均衡を保っている。

3項目評価が Cの施設

所管局	ページ数 (資料2-4)	施設の名称	指定管理者名	３項目評価	利用状況	満足度	収支状況	３項目評価の概要 （利用状況・利用者の満足度・収支状況）
福祉子どもみらい局	Ｐ41 ～ Ｐ50	三浦しらとり園	（社福）清和会	Ｃ	Ｃ	Ａ	Ｃ	◆利用状況 利用者状況について、成人の新規入所は見合わせているため、入所の目標達成率は72.0%でＣ評価となった。 ◆利用者の満足度 利用者の満足度については、満足と回答した割合が87.0%と前年度を上回った。 ◆収支状況 収支状況については、収支差額の決算額と収支差額の当初予算額の割合が、-254.0%となりＣ評価となった。